

私立大学図書館協会 2019年度西地区部会第1回役員会議事要録

1. 日時：2019年6月20日（木）15:30～17:42
2. 場所：ホテル阪急インターナショナル 6階「ハイビスカス・マーガレット」
3. 出席：13校25名

(敬称略)

役員名称	大 学 名	職 名	氏 名
監事校	名城大学	業務職	吉田 伸子
前部会長校	大阪工業大学	図書館事務室長	佐伯 慶子
前監事校	福岡大学	事務部長	井口 紀子
東海地区理事校	日本福祉大学	学務部次長兼図書館課長	松橋 秀親
		事務職員	石川 宗臣
京都地区理事校	帝塚山大学	図書館長	飛世 昭裕
		図書館課長	屋山 俊幸
		図書館課員	小松 愛
阪神地区理事校	大阪樟蔭女子大学	課長	丸谷 初江
中国・四国地区理事校	徳島文理大学	図書館長	溝口 隆一
		事務長	中井 淳也
		職員	山下 仁美
九州地区理事校	福岡工業大学	次 長	中島 良二
		司 書	河野 真奈美
総会当番校	大阪経済大学	図書館・研究所事務課課長	大塚 好晴
		図書館・研究所事務課	水野 ひろみ
研究会当番校	同志社大学	学術情報課長	藤井 邦宏
		学術情報係長	山口 伊都代
次年度総会当番校	熊本学園大学	図書館長	林 裕
		図書館情報課長	西 一幸
		図書館情報課長補佐	英 貴美子
次年度研究会当番校	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	課長	守田 正江
部会長校	佛教大学	図書館長	松田 和信
		部長	森 智女
		課長	沼尻 直美

議事に先立ち、西地区部会長校 佛教大学附属図書館長 松田 和信から挨拶がなされた。次に議長として、佛教大学附属図書館長 松田 和信が選出されたが、のどの不調により、議事進行は事務部長 森 智女が代行した。引き続き、出席者が自己紹介を行った。

議事

I. 報告事項

1. 2018年度西地区部会会務報告

前年度 西地区部会長校 大阪工業大学（佐伯）より、配付資料（p. 3～6）に基づき報告があった。

2. 2018年度各地区協議会会務報告および各地区協議会研究会報告

東海地区：東海地区協議会理事校 日本福祉大学（松橋）より、配付資料（p. 7～11）に基づき、報告があった。

京都地区：京都地区協議会理事校 帝塚山大学（屋山）より、配付資料（p. 11～14）に基づき、報告があった。

阪神地区：阪神地区協議会理事校 大阪樟蔭女子大学（丸谷）より、配付資料（p. 14～18）に基づき、報告があった。

中国・四国地区：中国・四国地区協議会理事校 徳島文理大学（中井）より、配付資料（p. 18～20）に基づき、報告があった。

九州地区：九州地区協議会理事校 福岡工業大学（中島）より、配付資料（p. 20～23）に基づき、報告があった。

あわせて、以前より保留となっていた、2021～2022年度会長校等について、臨時会議および加盟館メール決議において決定した内容が報告された。

決定内容

- ①2021～2022年度私立大学図書館協会会長校 西南学院大学を推薦
（2025～2026年度西地区部会部会長校 西南学院大学を取消）
- ②2025～2026年度西地区部会部会長校 福岡大学を推薦
- ③2021～2022年度九州地区協議会理事校 久留米大学を推薦
（2022年度九州地区協議会総会当番校 久留米大学を取消）

3. 2018年度 私立大学図書館協会会務報告

前年度 西地区部会長校 大阪工業大学（佐伯）より、配付資料（p. 24～43）に基づき、報告があった。

4. 2019年度 協会役員校、委員会および協会関連団体等委員

前年度 西地区部会長校 大阪工業大学（佐伯）より、配付資料（p. 44～46）に基づき、報告があった。

5. その他

なし

II. 協議事項

1. 2018年度西地区部会決算（案）および監査報告について

前年度 西地区部会長校 大阪工業大学（佐伯）より、配付資料（p. 47～49）に基づき報告があった。その後、前監事校 福岡大学（井口）より、監査の結果、会計基

準に則り、適正に処理されていることが報告され、承認された。

2. 2019年度西地区部会事業計画（案）について

西地区部会長校 佛教大学（森）より、配付資料（p. 50）に基づき提案がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

続いて、西地区部会総会当番校 大阪経済大学（水野）より、配付資料（p. 50）に基づき、総会についての案内がなされた。引き続き、西地区部会研究会当番校 同志社大学（藤井）より、配付資料（p. 50）に基づき、研究会についての案内がなされた。

3. 2019年度西地区部会予算（案）について

2019年度西地区部会予算（案）について、西地区部会長校 佛教大学（森）から配付資料（p. 51）により提案があった。

収入の部で、部会交付金は2019年度加盟校予定数258校で計上している。雑収入は昨年度実績に照らし、預金利息を計上。前年度繰越金は2018年度決算の次年度繰越金分を計上している。

支出の部では、例年どおり必要な項目を設け、部会活動費、総会費、研究会費それぞれ昨年度の実績に照らし、計上している。地区協議会交付金では5地区に各8万円で計上。地区研究会交付金は2019年度加盟校予定数258校で計上している。詳しい算出方法は配付資料注1のとおりである。地区研究会幹事校交付金は5地区に各7万円で計上している。予備費の内訳は配付資料のとおりである。

なお、2018年度第2回役員会において、2019年度予算での総会費を30万円とされているが、総会出席者を収容できる規模のホールを持たない当番校への配慮、加盟校に対する総会参加費の負担軽減とそれに伴う参加者増への対策などを見据え、従来通りの40万円とすることについて、部会長校と総会当番校において検討することとなっていた。この件について、その妥当性を鑑み、40万円で計上することとしたことが報告された。

以上の提案について、異議なく承認された。

4. その他

なし

Ⅲ. 承合事項

西地区部会長校 佛教大学（森）より、総会における承合事項として福岡女学院大学から提案のあった「除籍（図書を除却）について」を採用しており、明日の総会で提案校より回答結果を含めて報告いただくことの説明があった。

Ⅳ. 確認事項

1. 2019・2020年度西地区部会役員校について

西地区部会長校 佛教大学（森）より、配付資料（p. 52）に基づき確認された。

2. 2019・2020・2021年度西地区部会当番校について

西地区部会長校 佛教大学（森）より、配付資料（p.52）に基づき確認された。

3. 2019年度西地区部会関連行事日程について

西地区部会長校 佛教大学（森）より、配付資料（p.53）に基づき確認された。

4. その他

- ・西地区部会長校 佛教大学（森）より、私立大学図書館協会役員校・当番校一覧（西地区部会関係）について、九州地区協議会において決定している内容が確認された。

2021・2022年度 会長校 西南学院大学

2025・2026年度 西地区部会 部会長校 福岡大学

2021・2022年度 西地区部会 九州地区協議会 理事校 久留米大学

- ・2017年第1回役員会にて「2019年度より総会・研究会は同日開催にて行う」という決定がなされているとおり、2020年度の西地区部会総会・研究会の会場が熊本学園大学（総会当番校）で行われる旨、確認された。合わせて同役員会において、総会・研究会の会場が地理的に離れている場合、研究会当番校関係者の交通費を研究会費の範囲内で助成できる旨、合わせて確認され、異議なく了承された。

V. その他

1. 西地区部会の組織・活動のスリム化に向けて

西地区部会長校 佛教大学（森）より、別配布の資料に基づき、説明がなされた。

西地区部会において、数年前より役務の負担などが話題にあがり、都度会議においても議論されていることが、記録にも留められている。それぞれの地区協議会において、役員などを引き受けることを躊躇され、拒まれる事例もあり、それらの決定が遅れることにより、西地区のみならず、運営に支障を来す事態にも発展している。地区により事例は異なるかもしれないが、大学の規模に関わらず、会長を担う規模であるかどうかではなく、すべての加盟館の皆さまにこの機会に問題を共有し、お考えいただきたい。

2019年3月1日の西地区部会役員会において、前年度 西地区部会長校 大阪工業大学様より問題提起として、西地区部会における課題や見直しの方向性などが出され、確認がなされた。その案を、いよいよ具体的な検討に進めるために、全ての加盟館に意見収集というかたちで検討の一步にしたいと提案する。

これら3案を持って、まず意見収集し、方向性を確認することから手がけたい。今後の進め方については、この意見収集を8月末日とし、その意見をまとめ、12月6日の常任幹事会で見直しの骨子を報告。その後、2020年3月6日の西地区部会役員会において見直しの骨子を固める。その内容について、理事校より加盟館へメールで送信し、賛否を問いたいと考えている。

前年度 西地区部会長校 大阪工業大学（佐伯）より、前年度からの経緯や部会

長校を経験した上での説明がされた。西地区の役員ローテーションが決まらないことによって全体にも影響がでる。職員の人員削減など各大学事情はあると思うが役員校・一加盟校にかかわらず、問題を共有し、忌憚のない意見を広く収集した上で、私立大学図書館協会の組織のこれからについて皆で建設的に検討していきたいとの説明がなされた。

(質問) たとえば別紙の『2. (2) 見直しの方向性 (案) ①』についてどのように意見を収集するのか? 『見直しの方向性 (案)』にある具体例にそっての意見収集でよいのか?

(回答) 示しているのはあくまでの例なので、具体的な意見があれば、広く意見を求めたい。

(質問) 『3. 今後の進め方』について、この提案を実施していくにあたり、いつまでに実施したいという考えはあるのか?

(回答) あくまでも部会長校の任期2年の間でシュミレーションしたもの。意見収集をしていく上での進捗にもよるが、最終的なゴール地点は現段階では不確定である。

(質問) 意見収集の提出について、理事校は各地区の総意をまとめるのか? 一加盟校の意見をそのまま提出するのか?

(回答) 各地区として総意をまとめるのは難しいと思われるので、個々の意見をそのまま提出していただく形での収集としてもらいたい。

(質問) 各地区で具体的な問題になっていることは何かあるか?

(質問) 私立大学図書館協会に所属するメリットとはどういうものを想定しているのか? 九州地区では、会長校等の選出が決まらず、脱退したほうのアドバンテージが見込めるなどの意見が多数あった。九州地区の現状からみると、今回の方向性は適しているように思える。例えば、九州エリアから西地区部会の会場へ行く場合、どこに行くにも交通費がかさみ、各大学での負担が増えていく。私立大学図書館協会からの援助は検討できないのか?

(回答) 「加盟館が本協会に加盟しているメリットをより多く感じられる組織とする」と記している以上に具体的なものは提案できていない。役員校の負担を減らすことに力点を置いている。九州エリアの交通費負担については、意見が出ていることを記録に留めておく。

(意見) 東海地区では、ルールを決めて役員校のローテーションを組んで、それを基に役員校を引き受ける際の説明を行っている。5地区が解消されることにより今までとは違う形の負担がでてくる際に躊躇する可能性が考えられる。また、今回の提案の趣旨を理事校から各加盟館へうまく説明できるか不安がある。総会でも同様に説明されるのか?

(回答) これ以上のことは今の段階では提案できないが、今後の方向性の大枠をきめ

ていければということで今回の意見収集を実施していきたい。明日の総会においても、加盟館の方へ部会長校からも趣旨を説明し、理事校様への負担のないように意見収集ができればと考えている。

(質問) 京都地区としては、今回の『2. (2) 見直しの方向性 (案)』の提案はおおむね賛同できるが、今回の提案は西地区内で解決できる範囲として捉えればいいのか？今後、東地区とも調整する可能性もあるのか？

(回答) 私立大学図書館協会は東西で構成され、それぞれの活動を行っている。今回は西地区において、研究会・総会等のイベントの二重構造を解消し、業務のスリム化をはかり、各大学の負担を軽減するための意見収集を行うもので、今回の提案はあくまでも西地区内の問題解決を行うものとしている。

(質問) 意見収集の方法について、例えば、『2. (2) 見直しの方向性 (案)』の『提案①が何校』という形で取りまとめればよいのか？

(回答) 各加盟館が私立大学図書館協会西地区部会の今後をどのようにしていくべきかという方向性を確認したいということが今回の意見収集の趣旨なので、『提案①が何票』という形で集計し個別の意見・提案等についてはエクセルシートなどにまとめていただきたい。

(意見) スリム化＝手抜きというネガティブな発想ではなく、役員校だけではなく、各加盟館においても、無駄をなくし、有意義な私立大学図書館の運営をめざしていければと思う。

(意見) 前々部会長校として感じたのは、私立大学図書館協会内の意識改革が必要なのではということ。効率よく協会を盛り上げていく方法という観点で業務のスリム化を検討していければと思う。当時会長校でも効率化をはかっていたが、一加盟館の役員校へのイメージがうまく伝わっていない懸念がある。単に業務負担が増えるというイメージが大きいような印象をうける。理事校は今回の内容の細かな説明をせず、一加盟館にバイヤスの係らない忌憚のない意見を収集できるよう勤めてほしい。

(意見) 今回の役員会で提案された『スリム化』の議題は、大きな議題であるので、必要に応じて『メール会議』などで情報交換などを行う機会があってもよいかと思う。

種々意見が交わされた結果、今回の『西地区部会の組織・活動のスリム化に向けて』について、意見収集の依頼を7月上旬に部会長校から各地区理事校へ発信し、各加盟館からは、8月30日(金)迄に各理事校に届け、その後、理事校より部会長校へ提出していただくことが承認された。

以上